# 関数の極限

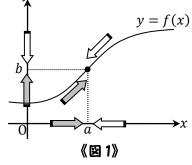
## §1 関数の極限

x が a に限りなく近づいたとき, x の関数 f(x) の値が b に限りなく近づくならば

$$\lceil \lim_{x \to a} f(x) = b \rfloor$$
 または  $\lceil x \to a \text{ Obs } f(x) \to b \rfloor$ 

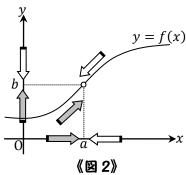
と表し、b を  $x \to a$  のときの f(x) の**極限値**または**極限**という。 また、このとき関数 f(x) は  $x \to a$  のとき b に**収束する**という《図 1》。

収束しないときは**発散する**という。



《図 2》のような場合、f(a) の値は存在しない(〇になっているので)が、極限値  $\lim_{x\to a} f(x)$  は存在している。極限はあくまでも**近づく値を 調べる**のであって x=a のときの値を聞いているのではない。

以下の例で見てみよう。

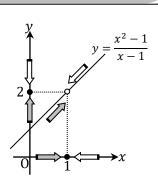


**例1**  $\lim_{x\to 1} \frac{x^2-1}{x-1}$  の値を求めなさい。

 $y = \frac{x^2 - 1}{x - 1}$  のグラフは直線 y = x + 1 から x = 1 を除いた部分になる。

グラフより, x を 1 に近づけると, y の値は 2 に近づく。

よって, 
$$\lim_{x\to 1} \frac{x^2-1}{x-1} = 2$$



また、関数の極限に関しても、数列の場合と同様、次の法則が成り立っている。

#### ━● 極限の性質 ◆━

 $\lim_{x \to a} f(x) = \alpha, \quad \lim_{x \to a} g(x) = \beta \mathcal{O} \succeq \tilde{\Xi}$ 

- ①  $\lim_{x \to a} kf(x) = k\alpha$  (k は定数)

 $(4) \quad \lim_{x \to a} \frac{f(x)}{g(x)} = \frac{\alpha}{\beta} \quad (\beta \neq 0)$ 

例2 次の極限値を求めなさい。

$$(1) \quad \lim_{x \to \infty} \left( \sqrt{x^2 + x} - x \right)$$

(2) 
$$\lim_{x \to -\infty} \left( \sqrt{x^2 + x} + x \right)$$

(1) 
$$\lim_{x \to \infty} \left( \sqrt{x^2 + x} - x \right) = \lim_{x \to \infty} \frac{x^2 + x - x^2}{\sqrt{x^2 + x} + x} = \lim_{x \to \infty} \frac{x}{\sqrt{x^2 + x} + x} = \lim_{x \to \infty} \frac{1}{\sqrt{1 + \frac{1}{x} + 1}} = \frac{1}{2}$$

(2) x = -t (t > 0) とおくと,  $x \to -\infty$  のとき,  $t \to \infty$ 

このとき, 
$$\lim_{x \to -\infty} \left( \sqrt{x^2 + x} + x \right) = \lim_{t \to \infty} \left( \sqrt{t^2 - t} - t \right)$$

$$= \lim_{t \to \infty} \frac{t^2 - t - t^2}{\sqrt{t^2 - t} + t} = \lim_{t \to \infty} \frac{-t}{\sqrt{t^2 - t} + t} = \lim_{t \to \infty} \frac{-1}{\sqrt{1 - \frac{1}{t} + 1}} = -\frac{1}{2}$$

(2)を

$$\lim_{x \to -\infty} \left( \sqrt{x^2 + x} + x \right) = \lim_{x \to -\infty} \frac{x^2 + x - x^2}{\sqrt{x^2 + x} - x} = \lim_{x \to -\infty} \frac{x}{\sqrt{x^2 + x} - x} = \lim_{x \to -\infty} \frac{1}{\sqrt{1 + \frac{1}{x} - 1}}$$

と変形してしまうのは誤りである(部が誤り)。

なぜなら, (2)では  $x \to -\infty$  なので, x は負の値をとる。つまり,  $\sqrt{x^2} = -x$  である。 このことから, 部は,

$$\lim_{x \to -\infty} \frac{x}{\sqrt{x^2 + x} - x} = \lim_{x \to -\infty} \frac{x}{\sqrt{x^2 \left(1 + \frac{1}{x}\right)} - x} = \lim_{x \to -\infty} \frac{x}{-x\sqrt{1 + \frac{1}{x}} - x} = \lim_{x \to -\infty} \frac{1}{-\sqrt{1 + \frac{1}{x}} - 1} = -\frac{1}{2}$$

となる。この問題は、非常に間違いやすいので、解答ではx = -t ( $t \ge 0$ ) とおいて、変数を正の値にしている。

**例3** 等式  $\lim_{x\to 2} \frac{a\sqrt{x+1}-b}{x-2} = \sqrt{3}$  が成り立つとき、定数 a、b の値を求めなさい。

まずは極限値を持つための必要条件を考えていきます。

 $\lim_{x\to 2} (x-2) = 0$  より、 $\lim_{x\to 2} (a\sqrt{x+1}-b) = 0$  となる必要がある。

よって、 $\sqrt{3}a - b = 0$   $\Leftrightarrow$   $b = \sqrt{3}a$ 

このとき

$$\lim_{x \to 2} \frac{a\sqrt{x+1} - \sqrt{3}a}{x-2} = \lim_{x \to 2} \frac{x+1-3}{(x-2)(\sqrt{x+1} + \sqrt{3})} a = \lim_{x \to 2} \frac{1}{\sqrt{x+1} + \sqrt{3}} a = \frac{a}{2\sqrt{3}}$$

これより、 $\frac{a}{2\sqrt{3}} = \sqrt{3}$   $\Leftrightarrow$  a = 6

このとき, $b = 6\sqrt{3}$ 

**別題1** 次の極限値を求めなさい。

(1) 
$$\lim_{x \to 2} \frac{x^3 - 3x - 2}{x^2 - 3x + 2}$$

(2) 
$$\lim_{x \to 0} \frac{1}{x} \left( \frac{3}{x+3} - 1 \right)$$
 (3)  $\lim_{x \to 4} \frac{\sqrt{x+5} - 3}{x-4}$ 

(3) 
$$\lim_{x \to 4} \frac{\sqrt{x+5} - 3}{x - 4}$$

たの極限値を求めなさい。

(1) 
$$\lim_{x \to 1} \frac{x^2 - 3x + 2}{x^2 - 5x + 4}$$

(2) 
$$\lim_{x \to -2} \frac{x^3 + 3x^2 - 4}{x^3 + 8}$$

(1) 
$$\lim_{x \to 1} \frac{x^2 - 3x + 2}{x^2 - 5x + 4}$$
 (2) 
$$\lim_{x \to -2} \frac{x^3 + 3x^2 - 4}{x^3 + 8}$$
 (3) 
$$\lim_{x \to 1} \frac{1}{x - 1} \left( x + 1 + \frac{2}{x - 2} \right)$$

$$(4) \quad \lim_{x \to 0} \frac{\sqrt{1+x} - \sqrt{1-x}}{x}$$

(5) 
$$\lim_{x \to 2} \frac{\sqrt{2x+5} - \sqrt{4x+1}}{\sqrt{2x} - \sqrt{x+2}}$$

(4) 
$$\lim_{x \to 0} \frac{\sqrt{1+x} - \sqrt{1-x}}{x}$$
 (5) 
$$\lim_{x \to 2} \frac{\sqrt{2x+5} - \sqrt{4x+1}}{\sqrt{2x} - \sqrt{x+2}}$$
 (6) 
$$\lim_{x \to 3} \frac{\sqrt{(2x-3)^2 - 1} - \sqrt{x^2 - 1}}{x-3}$$

例題2 次の極限を求めなさい。

(1) 
$$\lim_{x \to \infty} (x^3 - 3x^2 + 5)$$

(1) 
$$\lim_{x \to \infty} (x^3 - 3x^2 + 5)$$
 (2)  $\lim_{x \to -\infty} \frac{3x^2 + 4x - 1}{2x^2 - 3}$  (3)  $\lim_{x \to \infty} \left( \sqrt{x^2 - x} - x \right)$  (4)  $\lim_{x \to -\infty} \frac{4^x}{3^x + 2^x}$ 

(3) 
$$\lim_{x \to \infty} \left( \sqrt{x^2 - x} - x \right)$$

$$(4) \quad \lim_{x \to -\infty} \frac{4^x}{3^x + 2^x}$$

顧習 2 次の極限を求めなさい。

(1) 
$$\lim_{x \to \infty} (x^3 - 2x^2)$$

(2) 
$$\lim_{x \to \infty} \frac{2x^2 + 3}{x^3 - 2x}$$

(3) 
$$\lim_{r \to \infty} \frac{3x^3 + 1}{r + 1}$$

(1) 
$$\lim_{x \to -\infty} (x^3 - 2x^2)$$
 (2)  $\lim_{x \to \infty} \frac{2x^2 + 3}{x^3 - 2x}$  (3)  $\lim_{x \to \infty} \frac{3x^3 + 1}{x + 1}$  (4)  $\lim_{x \to \infty} \left(\sqrt{x^2 + 2x} - x\right)$ 

(5) 
$$\lim_{x \to \infty} \sqrt{x} \left( \sqrt{x+1} - \sqrt{x-1} \right)$$
 (6)  $\lim_{x \to \infty} \frac{2^{x-1}}{1+2^x}$  (7)  $\lim_{x \to -\infty} \frac{7^x - 5^x}{7^x + 5^x}$ 

(6) 
$$\lim_{x \to \infty} \frac{2^{x-1}}{1 + 2^x}$$

$$(7) \quad \lim_{x \to -\infty} \frac{7^x - 5^x}{7^x + 5^x}$$

**別題3** 次の極限値を求めなさい。

(1) 
$$\lim_{x \to \infty} \left\{ \frac{1}{2} \log_3 x + \log_3 \left( \sqrt{3x + 1} - \sqrt{3x - 1} \right) \right\}$$

$$(2) \quad \lim_{x \to -\infty} \left( \sqrt{x^2 + 3x} + x \right)$$

顧習 次の極限値を求めなさい。

(1) 
$$\lim_{x \to \infty} \{ \log_2(8x^2 + 2) - 2\log_2(5x + 3) \}$$

(2) 
$$\lim_{x \to -\infty} \left( \sqrt{x^2 + x + 1} + x \right)$$

(3) 
$$\lim_{x \to -\infty} \left( 3x + 1 + \sqrt{9x^2 + 1} \right)$$

**例題**  $\Delta$  次の等式を満たす定数  $\alpha$ , b の値を定めなさい。

$$\lim_{x \to 1} \frac{a\sqrt{x+1} - b}{x-1} = \sqrt{2}$$

顧習 ○ 次の等式を満たす定数 a, b の値を定めなさい。

(1) 
$$\lim_{x \to 4} \frac{a\sqrt{x} + b}{x - 4} = 2$$

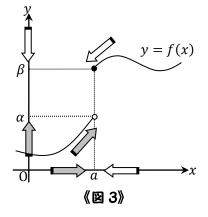
(2) 
$$\lim_{x \to 2} \frac{x^3 + ax + b}{x - 2} = 17$$

(1) 
$$\lim_{x \to 4} \frac{a\sqrt{x} + b}{x - 4} = 2$$
 (2) 
$$\lim_{x \to 2} \frac{x^3 + ax + b}{x - 2} = 17$$
 (3) 
$$\lim_{x \to 8} \frac{ax^2 + bx + 8}{\sqrt[3]{x} - 2} = 84$$

#### 〇 右側極限, 左側極限

《図3》の場合だと極限はどうなるだろうか?

この場合,グラフが途切れているため,左側から a に近づけたときは a に近づくが,右側から a に近づけたときは  $\beta$  に近づいている。このとき**極限が一意に定まらない**ので,f(x) の  $x \to a$  のときの極限は**存在しない**という。『左から近づける』,『右から近づける』ことを記号では -0,+0 を用いて次のように表す。



$$\lim_{x \to a-0} f(x) = \alpha, \quad \lim_{x \to a+0} f(x) = \beta$$

これは, x が a に近づいたときの**左側極限**, 右側極限という。

# **例4** $\lim_{x\to 0} \frac{x^2+1}{x}$ の極限を求めなさい。

0 に左右から近づける場合は、 $x \to 0+0$ 、 $x \to 0-0$  とは書かずに、0 を省略して  $x \to +0$ 、 $x \to -0$  と書きます。

 $x \to +0$  のとき, x は正の値をとりながら 0 に収束する。

$$\lim_{x \to +0} (x^2 + 1) = 1 \, \, \text{$\downarrow$} \, \text{$\emptyset$} \, , \quad \lim_{x \to +0} \frac{x^2 + 1}{x} = \infty$$

 $x \rightarrow -0$  のとき, x は負の値をとりながら 0 に収束する。

$$\lim_{x \to +0} (x^2 + 1) = 1 \, \ \, \sharp \, \, \emptyset \, , \quad \lim_{x \to -0} \frac{x^2 + 1}{x} = -\infty$$

 $\lim_{x \to +0} \frac{x^2 + 1}{x} \neq \lim_{x \to -0} \frac{x^2 + 1}{x}$  より、極限  $\lim_{x \to 0} \frac{x^2 + 1}{x}$  は存在しない。

# **例題 5**(1) $\lim_{x\to 1+0} \frac{x-2}{x-1}$ , $\lim_{x\to 1-0} \frac{x-2}{x-1}$ を求めなさい。

- (2)  $x \to 0$  のとき, 関数  $\frac{x^2 x}{|x|}$  の極限は存在するかどうか調べなさい。
- 題習  $\delta$  次の関数について、x が 1 に近づくときの右側極限、左側極限を求めなさい。そして、 $x \to 1$  のとき極限が存在するかどうか調べなさい。ただし、(4)の [x] は x を超えない最大の整数を表す。

(1) 
$$\frac{1}{(x-1)^2}$$

(2) 
$$\frac{1}{(x-1)^3}$$

(3) 
$$\frac{(x+1)^2}{|x^2-1|}$$

$$(4) \quad x - [x]$$

#### 〇 極限値の大小

これに関しても数列の極限のときと同様の性質が成り立つ。

#### 🚭 極限値の大小 🗱

 $\lim_{x \to a} f(x) = \alpha$ ,  $\lim_{x \to a} g(x) = \beta$  であるとき

$$f(x) \le g(x) \implies \alpha \le \beta$$

② 
$$\lim_{x \to a} f(x) = \alpha$$
,  $\lim_{x \to a} g(x) = \alpha$  であるとき  $f(x) \le h(x) \le g(x)$   $\Rightarrow$   $\lim_{x \to a} h(x) = \alpha$  (はさみうちの原理)

**例5** 
$$\lim_{x\to\infty} (1+2^x)^{\frac{1}{x}}$$
 の極限を求めなさい。

このまま  $x \to \infty$  とすると、 $\infty^0$  となり、不定形です。ここでは、はさみうちの原理を用いて解いて いきます。

$$x > 0$$
 のとき,  $2^{x} < 1 + 2^{x} < 2 \cdot 2^{x}$  となるので,

$$(2^x)^{\frac{1}{x}} < (1+2^x)^{\frac{1}{x}} < (2\cdot 2^x)^{\frac{1}{x}} \iff 2 < (1+2^x)^{\frac{1}{x}} < 2^{\frac{1}{x}} \cdot 2$$

$$\lim_{x\to\infty}2^{\frac{1}{x}}\cdot 2=2^0\cdot 2=2\ \ \sharp\ \emptyset\ ,$$

はさみうちの原理から、 
$$\lim_{x\to\infty} (1+2^x)^{\frac{1}{x}}=2$$

**例題** G 次の極限値を求めなさい。ただし、[x] は x を超えない最大の整数を表す。

$$(1) \quad \lim_{x \to \infty} \frac{[3x]}{x}$$

$$(2) \quad \lim_{x \to \infty} (3^x + 5^x)^{\frac{1}{x}}$$

顧習 ® 次の極限値を求めなさい。ただし、[x] はガウス記号を表す。

$$(1) \quad \lim_{x \to \infty} \frac{x + [2x]}{x + 1}$$

$$(2) \quad \lim_{x \to \infty} \left\{ \left(\frac{2}{3}\right)^x + \left(\frac{3}{2}\right)^x \right\}^{\frac{1}{x}}$$

はさみうちの原理を用いて, 次の極限を証明する。



#### 証明

右図のように半径1の円周上に2点A, Bをとり,

$$\angle AOB = 2\theta \left(0 < \theta < \frac{\pi}{2}\right)$$
とする。また、 $2$  点 A, B における

接線の交点をCとする。

図より明らかに、線分 AB < 弧 AB < 折線 ACB なので、

 $2\sin\theta < 2\theta < 2\tan\theta$ 

 $\sin \theta > 0$  より両辺  $2\sin \theta$  で割ると,

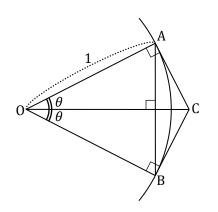
$$1 < \frac{\theta}{\sin \theta} < \frac{\tan \theta}{\sin \theta} \iff \cos \theta < \frac{\sin \theta}{\theta} < 1$$

 $\lim_{\theta \to +0} \cos \theta = 1$  より、はさみうちの原理から、  $\lim_{\theta \to +0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$  …①

また、 $\theta < 0$  のとき、 $\theta = -t$  (t > 0) とおくと

$$\lim_{\theta \to -0} \frac{\sin \theta}{\theta} = \lim_{t \to +0} \frac{\sin(-t)}{(-t)} = \lim_{\theta \to +0} \frac{\sin t}{t} = 1 \quad \cdots 2$$

①, ②より, 
$$\lim_{\theta \to 0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$$

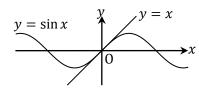


今、 $\theta$  は正なので、0 の右側からしか近づけることができません。左からも近づけて初めて極限が分かります。 $\lambda$ 



この極限の結果から、x = 0 のとき  $\frac{\sin x}{x} = 1$ 、つまり、x = 0 のとき  $\sin x = x$  と言うことができます。

これは、x = 0 のとき、 $y = \sin x$  と y = x のグラフはほぼ同じである ということ意味しています。つまり、 $y = \sin x$  の原点における接線の 方程式が y = x ということが分かります。

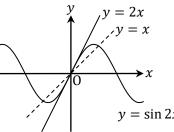


**例ら** 次の極限値を求めなさい。
(1)  $\lim_{r\to 0} \frac{\sin 2x}{r}$  (2)  $\lim_{x\to 0} \frac{\sin 2x}{\sin 3x}$ 

- (3)  $\lim_{x \to 0} \frac{1 \cos x}{x^2}$  (4)  $\lim_{x \to 0} \frac{\tan x}{x}$

 $\frac{\sin 2x}{x}$  は  $x \to 0$  のとき、 $\frac{\sin 0}{0}$  になるからと言って、 $\lim_{x \to 0} \frac{\sin 2x}{x} = 1$  として

はいけません。x = 0 のとき,  $y = \sin 2x$  と y = x は同じグラフにならない からです。 $y = \sin 2x$  の原点における接線の方程式はy = 2x なので、 分母を2xとしなくてはいけません。



つまり,このタイプの極限は  $\lim_{\square \to 0} \frac{\sin \square}{\square} = 1$  ( $\square$  は同じ式) とすることがポイントです。

(1) 
$$\lim_{x \to 0} \frac{\sin 2x}{x} = \lim_{x \to 0} \frac{\sin 2x}{2x} \cdot 2 = 2$$

(2) 
$$\lim_{x \to 0} \frac{\sin 2x}{\sin 3x} = \lim_{x \to 0} \frac{\sin 2x}{2x} \cdot \frac{3x}{\sin 3x} \cdot \frac{2}{3} = \frac{2}{3}$$

(3) 
$$\lim_{x \to 0} \frac{1 - \cos x}{x^2} = \lim_{x \to 0} \frac{1 - \cos^2 x}{x^2} \cdot \frac{1}{1 + \cos x}$$
$$= \lim_{x \to 0} \frac{\sin^2 x}{x^2} \cdot \frac{1}{1 + \cos x}$$
$$= \lim_{x \to 0} \left(\frac{\sin x}{x}\right)^2 \cdot \frac{1}{1 + \cos x} = 1 \cdot \frac{1}{2} = \frac{1}{2}$$

別解  $\lim_{x\to 0} \frac{1-\cos x}{x^2} = \lim_{x\to 0} \frac{2\sin^2\frac{x}{2}}{x^2} = \lim_{x\to 0} \frac{1}{2} \cdot \frac{\sin^2\frac{x}{2}}{\left(\frac{x}{2}\right)^2} = \frac{1}{2}$  半角の公式  $\sin^2\frac{x}{2} = \frac{1-\cos x}{2}$ 

(4)  $\lim_{x \to 0} \frac{\tan x}{x} = \lim_{x \to 0} \frac{\sin x}{x} \cdot \frac{1}{\cos x} = 1 \qquad \tan x = \frac{\sin x}{\cos x}$ 

例題7 次の極限値を求めなさい。

$$(1) \quad \lim_{x \to 0} \frac{\sin 3x}{x}$$

(2) 
$$\lim_{x \to 0} \frac{\tan x^{\circ}}{x}$$

$$\lim_{x \to 0} \frac{x^2}{1 - \cos x}$$

顧習 次の極限を求めなさい。

- $\lim_{x\to\infty}\sin\frac{1}{r}$ (1)
- $(2) \quad \lim_{x \to 0} \frac{\sin 4x}{3x} \qquad (3) \quad \lim_{x \to 0} \frac{\sin 2x}{\sin 5x}$
- $(4) \quad \lim_{x \to 0} \frac{\tan 2x}{x}$

- (6)  $\lim_{x\to 0} \frac{1-\cos 2x}{x^2}$
- $(7) \quad \lim_{x \to 0} \frac{x \sin 2x}{\sin 3x}$

例題8 次の極限値を求めなさい。

$$(1) \quad \lim_{x \to \frac{\pi}{2}} \frac{\cos x}{2x - \pi}$$

(2) 
$$\lim_{x \to \infty} x \sin \frac{1}{x}$$

$$(3) \quad \lim_{x \to 0} x^2 \sin \frac{1}{x}$$

愿習 8 次の極限を求めなさい。

$$(1) \quad \lim_{x \to \pi} \frac{(x-\pi)^2}{1+\cos x}$$

$$\lim_{x \to \pi} \frac{(x - \pi)^2}{1 + \cos x} \tag{2} \lim_{x \to 1} \frac{\sin \pi x}{x - 1}$$

(3) 
$$\lim_{x \to \infty} x^2 \left( 1 - \cos \frac{1}{x} \right)$$

(4) 
$$\lim_{x \to 0} \frac{\sin(2\sin x)}{3x(1+2x)}$$
 (5) 
$$\lim_{x \to \infty} \frac{\cos x}{x}$$

$$(5) \quad \lim_{x \to \infty} \frac{\cos x}{x}$$

(6) 
$$\lim_{x \to 0} x \sin^2 \frac{1}{x}$$

**例題 9** ○ を原点とする座標平面上に 2 点 A(2, 0), B(0, 1) がある。自然数 n に対し,線分 AB を 1:n に内分 する点を  $P_n$ ,  $\angle AOP_n = \theta_n \left(0 < \theta_n < \frac{\pi}{2}\right)$ , 線分  $AP_n$  の長さを  $l_n$  とする。

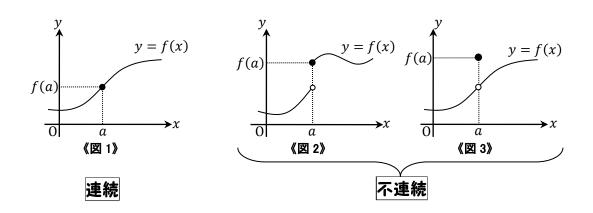
(1)  $l_n \in \theta_n$  で表しなさい。

(2) 極限値  $\lim_{n \to \infty} \frac{l_n}{\theta_n}$ を求めなさい。

題图  $\mathfrak g$  周の長さが 1 である正 n 角形  $(n=3,4,5,\cdots)$  に内接する円の半径を  $r_n$ , 外接する円の半径を  $R_n$  と するとき、 $\lim_{n\to\infty} r_n$ 、 $\lim_{n\to\infty} R_n$  を求めなさい。

### § 2 関数の連続性

定義域内の任意のxの値aにおいて連続なグラフとは、途切れていないひと続きのグラフ(図 1)であり、不連続なグラフとは途切れている部分が存在するグラフ(図 2.3)である。



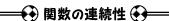
それではこの図をもとに、関数 y = f(x) が x = a において連続であるための条件を考えてみよう。

《図 2》は、極限  $\lim_{x\to a} f(x)$  が存在しない(左右で極限が違うので)。

《図 3》は、 $\lim_{x\to a}f(x)$  が存在するが、それが f(a) と一致しない。

《図 1》のみが唯一,「 $\lim_{x\to a} f(x)$  が存在」し、それが「f(a) に一致」する。

そして、これが連続となるための条件である。



関数 y = f(x) が x = a において連続であるとは

$$\lim_{x \to a} f(x) = f(a)$$

が成り立つことをいう。

ちなみに、連続とはあくまでも**「定義域内の**x**の値」**について考えるものである。
のえば、 $y=\frac{1}{x}$  の定義域はx<0, x>0なので、  $y=\frac{1}{x}$  はx=0 において不連続とは言わない。

**例7**  $x \ge 0$  のとき、次の関数 f(x) の連続性について調べなさい。

(1) 
$$f(x) = \lim_{n \to \infty} \frac{x^{n+1} - x + 2}{x^n + 1}$$

(2) 
$$f(x) = \lim_{n \to \infty} \frac{x^{n+1} - 1}{x^n + 1}$$

まずは無限等比数列の極限の考え方を使って、f(x)がどのような関数なのかを求めていきます。

$$\lim_{n\to\infty} x^n = \begin{cases} 0 & (-1 < x < 1) \\ 1 & (x = 1) \\ \infty & (x > 1) \end{cases}$$
存在しない  $(x \le -1)$ 

(1) 
$$0 \le x < 1 \text{ Obs}, \lim_{n \to \infty} x^n = 0 \text{ is } 0, f(x) = \lim_{n \to \infty} \frac{x^{n+1} - x + 2}{x^n + 1} = -x + 2$$

$$x = 1 \text{ Obs}, \lim_{n \to \infty} x^n = 1 \text{ Lb}, f(x) = \lim_{n \to \infty} \frac{x^{n+1} - x + 2}{x^n + 1} = 1$$

$$x > 1 \text{ Obs}, \lim_{n \to \infty} x^n = \infty \text{ in, } f(x) = \lim_{n \to \infty} \frac{x^{n+1} - x + 2}{x^n + 1} = \lim_{n \to \infty} \frac{x - \frac{1}{x^{n-1}} + \frac{2}{x^n}}{1 + \frac{1}{x^n}} = x$$

以上より, 
$$f(x) = \begin{cases} -x + 2 & (0 \le x < 1) \\ 1 & (x = 1) \\ x & (x > 1) \end{cases}$$

これより、 $0 \le x < 1$ , x > 1 のときは連続なので、x = 1 における連続性を調べる。

$$\lim_{x \to 1+0} f(x) = \lim_{x \to 1+0} x = 1, \quad \lim_{x \to 1-0} f(x) = \lim_{x \to 1-0} (-x+2) = 1 \, \, \text{$\downarrow$} \, \, \text{$\emptyset$} \, \, , \quad \lim_{x \to 1} f(x) = 1$$

f(1) = 1 より、 $\lim_{x \to 1} f(x) = f(1)$  となるので、x = 1 のとき連続となる。

以上より, y = f(x) は  $x \ge 0$  において連続となる。

(2) 
$$0 \le x < 1 \text{ Obs}, \lim_{n \to \infty} x^n = 0 \text{ in}, f(x) = \lim_{n \to \infty} \frac{x^{n+1} - 1}{x^n + 1} = -1$$

$$x = 1$$
 のとき、  $\lim_{n \to \infty} x^n = 1$  より、  $f(x) = \lim_{n \to \infty} \frac{x^{n+1} - 1}{x^n + 1} = 0$ 

$$x > 1 \text{ Obs}, \lim_{n \to \infty} x^n = \infty \text{ in } f(x) = \lim_{n \to \infty} \frac{x^{n+1} - 1}{x^n + 1} = \lim_{n \to \infty} \frac{x - \frac{1}{x^n}}{1 + \frac{1}{x^n}} = x$$

以上より、
$$f(x) = \begin{cases} -1 & (0 \le x < 1) \\ 0 & (x = 1) \\ x & (x > 1) \end{cases}$$

これより、 $0 \le x < 1$ 、x > 1 のときは連続なので、x = 1 における連続性を調べる。

$$\lim_{x \to 1+0} f(x) = \lim_{x \to 1+0} x = 1, \quad \lim_{x \to 1-0} f(x) = \lim_{x \to 1-0} (-1) = -1$$

 $\lim_{x\to 1+0} f(x) \neq \lim_{x\to 1-0} f(x) \ \text{より}, \ \lim_{x\to 1} f(x) \ \text{は存在しないので},$ 

y = f(x) は  $x \ge 0$  において不連続となる。

**例題 10**  $-1 \le x \le 2$  とする。次の関数の連続性について調べなさい。

(1) 
$$f(x) = x|x|$$
 (2)  $g(x) = \frac{1}{(x-1)^2}$   $(x \neq 1)$ ,  $g(1) = 0$ 

(3) h(x) = [x] ただし, [ ] はガウス記号とする。

顧習 10 次の関数の連続性について調べなさい。なお、(1)では関数の定義域もいえ。

(1) 
$$f(x) = \frac{x+1}{x^2-1}$$
 (2)  $-1 \le x \le 2$  of  $f(x) = \log_{10} \frac{1}{|x|}$   $(x \ne 0)$ ,  $f(0) = 0$ 

(3)  $0 \le x \le 2\pi$  で  $f(x) = [\cos x]$  ただし, [ ] はガウス記号。

#### 例題11 無限級数

$$x + \frac{x}{1+x} + \frac{x}{(1+x)^2} + \cdots + \frac{x}{(1+x)^{n-1}} + \cdots$$

について、次の各問いに答えなさい。

- (1) この無限級数が収束するような x の値の範囲を求めなさい。
- (2) x が(1)の範囲にあるとき、この無限級数の和を f(x) とする。関数 y = f(x) のグラフをかき、その連続性について調べなさい。

<u>趣智</u> かの無限級数が収束するとき、その和を f(x) とする。関数 y = f(x) のグラフをかき、その連続性について調べなさい。

(1) 
$$x^2 + \frac{x^2}{1 + 2x^2} + \frac{x^2}{(1 + 2x^2)^2} + \cdots + \frac{x^2}{(1 + 2x^2)^{n-1}} + \cdots$$

(2) 
$$x^2 + x + \frac{x^2 + x}{x^2 + x + 1} + \frac{x^2 + x}{(x^2 + x + 1)^2} + \cdots + \frac{x^2 + x}{(x^2 + x + 1)^{n-1}} + \cdots$$

**例題 12**(1) 
$$f(x) = \lim_{n \to \infty} \frac{x^{2n} - x^{2n-1} + ax^2 + bx}{x^{2n} + 1}$$
 を求めなさい。

(2) 上で定めた関数 f(x) がすべての x について連続であるように、a, b の値を定めなさい。

題習 
$$a$$
 は  $0$  でない定数とする。 関数  $f(x) = \lim_{n \to \infty} \frac{x^{2n+1} + (a-1)x^n - 1}{x^{2n} - ax^n - 1}$  が  $x \ge 0$  において連続になるようになるように、 $x = 0$  の値を定め、 $x = 0$  になるように、 $x = 0$  にないて連続になるよう

#### 〇 区間表示

今まではある区間を表すのに不等号を用いてきたが、これからは次のような記号も使っていく。

$$a < x < b$$
  $a \le x < b$   $a < x \le b$   $a \le x \le b$ 

(a, b) を**開区間**, [a, b]を**閉区間**という。また、 $\infty$  を用いると、次のような表し方もできる。

$$a < x$$
  $a \le x$   $x < b$   $x \le b$  実数全体  $(a, \infty)$   $[a, \infty)$   $(-\infty, b)$   $(-\infty, b]$   $(-\infty, \infty)$ 

#### 〇 連続関数に関する存在定理

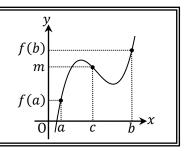
連続関数に関して成り立つ重要な存在定理を2つ紹介しておこう。

#### =④ 中間値の定理 👀=

f(x) を閉区間 [a, b] で定義された連続な

関数とし、
$$m \in f(a) < m < f(b)$$
 とするとき、
$$m = f(c) \ (a < c < b)$$

を満足する実数cが存在する。



**例8** 方程式  $x^2 - 3x - 5 = 0$ が区間 (3, 5) に実数解をもつことを示しなさい。

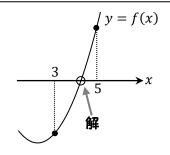
解を求めてしまえば明らかですが、今回は解が何かを聞かれているのではなく、解の**存在を聞かれている** ので、中間値の定理で解決します。

$$f(x) = x^2 - 3x - 5 \ \text{Ets} <_{\circ}$$

$$f(3) = 9 - 9 - 5 = -5 < 0,$$

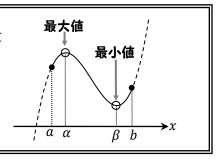
$$f(5) = 25 - 15 - 5 = 5 > 0$$

y = f(x) は区間 [3, 5] において連続なので、中間値の定理より、 $x^2 - 3x - 5 = 0$  は区間 (3, 5) に実数解をもつ。



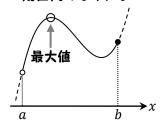
#### → 最大値・最小値の定理 →

f(x) を閉区間 [a, b] で定義された連続な関数とするとき、関数 f(x) には、最大値を取る点  $\alpha$  と、最小値を取る点  $\beta$  が必ず存在する。

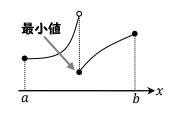


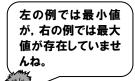
今まで何気なくやっていた最大・最小の問題ですが、実は閉区間、連続という条件がそろっている からこそ無条件に考えることができたのです。もし、この条件を満たしていないとこうはいきません。

閉区間でなければ…



連続でなければ…





- 例題 13(1) 方程式  $3^x = 2(x+1)$  は、1 < x < 2 の範囲に少なくとも 1 つの実数解を持つことを示しなさい。
  - (2) f(x), g(x) は区間 [a, b] で連続な関数とする。

f(a) > g(a) かつ f(b) < g(b) であるとき、方程式 f(x) = g(x) は a < x < b の範囲に少なくとも 1 つの 実数解を持つことを示しなさい。

顧習 №(1) 次の方程式は、与えられた範囲に少なくとも1つの実数解を持つことを示しなさい。

$$(\mathcal{T})$$
  $x^3 - 2x^2 - 3x + 1 = 0$   $(-2 < x < -1, 0 < x < 1, 2 < x < 3)$ 

$$(\checkmark) \quad \cos x = x \ \left(0 < x < \frac{\pi}{2}\right)$$

(†) 
$$\frac{1}{2^x} = x \ (0 < x < 1)$$

(2) 関数 f(x), g(x) は区間 [a, b] で連続で、f(x) の最大値は g(x) の最大値より大きく、f(x) の最小値は g(x) の最小値より小さい。このとき、方程式 f(x) = g(x) は、 $a \le x \le b$  の範囲に解を持つことを示しなさい。

### **MEMO**